

AS Power Silentist

The high performance power supply unit crafted by Abee.

S-450W LE OWNERS MANUAL

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は、本製品の機能および取り扱いに関する注意事項の説明をいたします。
製品をご使用になる前に必ずお読みください。

目次

1. ご注意
2. 製品の特長
3. パッキングリスト
4. 各部の名称および外形寸法
5. スペック
6. コネクタの詳細
7. イージープラグへの接続
8. 電源ユニットの取り付けとコネクタの接続
9. 電源ユニットの起動
10. ターボパワースイッチ
11. トラブルシューティング
12. カスタマーサポートのご案内
13. 本書について

2. 製品の特長

- イージープラグ、ターボパワースイッチがマシンをもっと思いのままに。
- ・イージープラグシステムの採用によりコネクタケーブルを自由に着脱可能（24 (20+4) ピンメインパワーコネクタケーブル、8 (4+4) ピン12Vコネクタケーブルを除く）
 - ・使用用途に応じて+12Vを2レール (SPLIT) または1レール (COMBINED) に切替可能なターボパワースイッチを搭載
 - ・コネクタケーブルにはPCケース内部のエアフローを改善し、EMIノイズを低減させるツイストケーブルを採用
 - ・6ピンPCI ExpressコネクタケーブルにはEMIコアおよびカップパーシールドリングスリムケーブルを採用し、EMI (電磁ノイズ) 対策をさらに強化 (VGAカードに悪影響を及ぼす電磁ノイズを抑制します)

さまざまなシーン、最新のアーキテクチャに余裕で対応。

- ・定格出力450W（瞬間最大出力500W (起動時約30秒間)）
- ・Pentium D (Intel)、Pentium Extreme Edition (Intel)、Athlon 64 X2 (AMD) などのデュアルコアプロセッサのほか、Xeon (Intel)、Opteron (AMD) プロセッサなど現在普及するIntel、AMDのすべてのプロセッサに対応 (24 (20+4) ピンメインパワーコネクタケーブル、8 (4+4) ピン12Vコネクタケーブル装備)
- ・SLI (Scalable Link Interface) に対応 (6ピンPCI Expressコネクタケーブル2本装備)
- ・マルチユースを考慮した十分なケーブル長とパワーコネクタ (4ピンペリフェラルコネクタ6個、SATAコネクタ3個、FDDコネクタ2個、6ピンPCI Expressコネクタ2個、8 (4+4) ピン12Vコネクタ1個、24 (20+4) ピンメインパワーコネクタ1個)

何よりも、まずは安心・安全であること。

- ・コネクタ端子には電気抵抗が低く、通導性に優れる金メッキコーティングを採用
- ・過電流・過電圧保護回路、ショート防止回路のほか、予期しないシャットダウン時のメモリ内容の喪失防止や起動時のディスクスキャンを防ぐシグナルコントロールカードを搭載
- ・内部温度に応じて回転数を自動制御するスマートファンコントロール機能付き静音12cmファンを搭載
- ・12ヶ月間の安心サポート

3. パッキングリスト

本製品には次のものが含まれています。欠品またはご不明な点がございましたら、弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

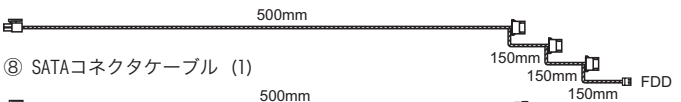
- ① 電源ユニット本体 (1) ② 固定用ネジ (5) ③ オーナーズマニュアル (1)



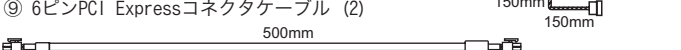
- ⑤ お客様登録用紙 (1) ⑥ ハードウェア保証書 (1)



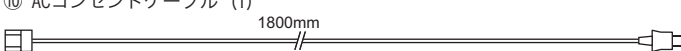
- ⑦ 4ピンペリフェラル with FDDコネクタケーブル (2)



- ⑧ SATAコネクタケーブル (1)



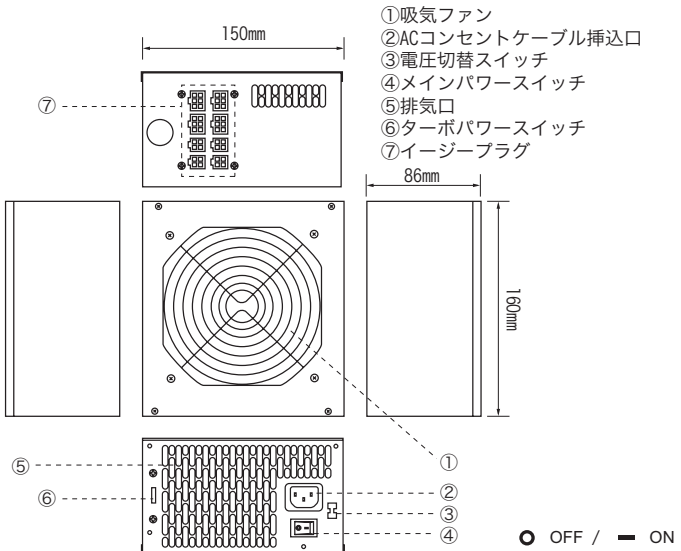
- ⑨ 6ピンPCI Expressコネクタケーブル (2)



- ⑩ ACコンセントケーブル (1)

※各ケーブルの長さには製造上の多少の誤差が生じる場合があります。
※末尾の () は数量です。

4. 各部の名称および外形寸法



5. スペック

■入力条件

- ・AC95V～132VまたはAC190V～264Vをスイッチ切替
- ・AC周波数47Hz～63Hz

■保護装置

- ・ショート防止回路
- ・過電流・過電圧保護回路
- ・シグナルコントロールカード

■ターボパワースイッチ

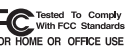
- ・SPLIT (2レール) またはCOMBINED (1レール) をスイッチ切替

■電圧出力、電流出力

S-450W LE ATX12V Ver. 2.2 (SSI-EPS12V Compatible)							
Output Rails	+3.3V	+5V	+12V1	+12V2	-5V	-12V	+5Vsb
Max. Current	28A	46A	20A	20A	0.5A	0.8A	2.5A
Max. Combined	230W		312W		2.5W	9.6W	12.5W
Total	430W				20W		

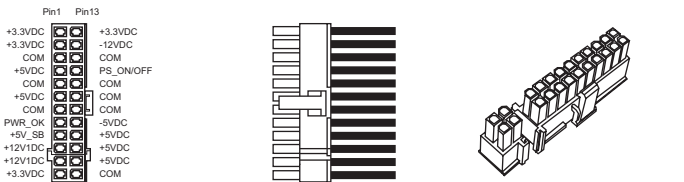
・瞬間最大出力は500W、最長約30秒間出力可能です。

・COMBINED (1レール) モード時の+12Vラインの瞬間最大電流は30Aです。

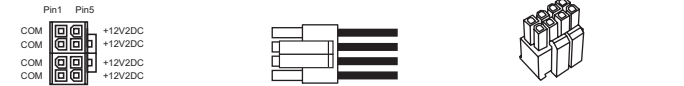


6. コネクタの詳細

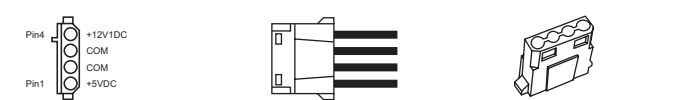
■24 (20+4) ピンメインパワーコネクタ



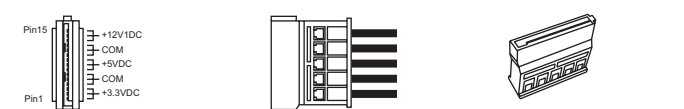
■8 (4+4) ピン12Vコネクタ



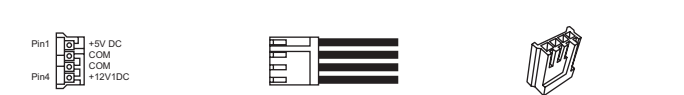
■4ピンペリフェラルコネクタ



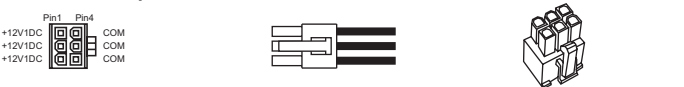
■SATAコネクタ



■FDDコネクタ



■6ピンPCI Expressコネクタ



7. イージープラグへの接続

イージープラグにご使用いただけるケーブルは、パッキングリスト中の⑦～⑨のパワーケーブルになります。

イージープラグへケーブルコネクタを接続する際は、以下の指示に従い正しく接続してください。誤った接続のままご使用になると電源ユニットや接続機器等を破損する恐れがあります。

■ストレージケーブルコネクタの接続

4ピンペリフェラル with FDDケーブルコネクタの接続

4ピンペリフェラル with FDDケーブルコネクタをご使用の際は、右図のプラグA～D (4ピン黒色) のいずれかに接続してください。

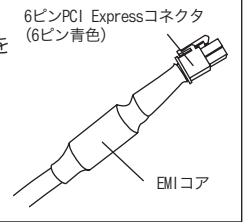
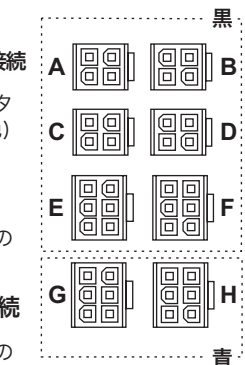
SATAケーブルコネクタの接続

SATAケーブルコネクタをご使用の際は、右図のプラグE・F (6ピン黒色) に接続してください。

■6ピンPCI Expressケーブルコネクタの接続

6ピンPCI Expressケーブルコネクタをご使用の際は、右図のプラグG・H (青色) に接続してください。

6ピン PCI Expressケーブルコネクタは、EMIコアが付いているほうのコネクタをVGAカード側に接続してください。



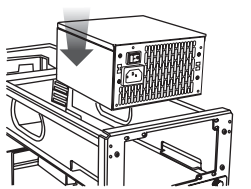
上記のご注意事項のほか、本製品をご使用前には必ず添付のハードウェア保証書をご一読ください。

8. 電源ユニットの取り付けとコネクタの接続

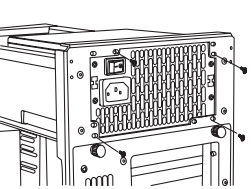
■電源ユニットの取り付け

①お使いのPCケースの取扱説明書の指示に従い、PCケースのカバーを取り外します。

②電源ユニットの吸気ファンを下向きにし、メインパワースイッチがPCケース背面の開口部から出るように搭載します。



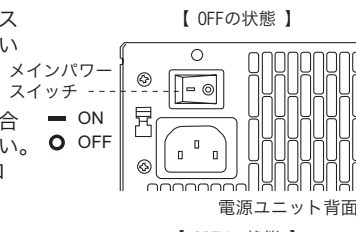
③付属の固定用ネジを使い、電源ユニットとPCケースをしっかりと固定します。



■コネクタ接続前の確認（重要）

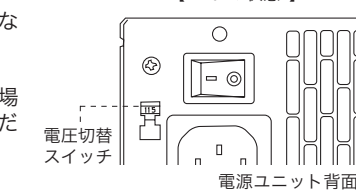
各パワーコネクタの接続をする前に、必ず次の確認を行ってください。
誤った設定のままご使用になると電源ユニットや接続機器等を破損する恐れがあります。

①電源ユニットのメインパワースイッチの表示が「OFF」になっていることを確認します。



※表示が「ON」になっている場合は「OFF」に切り替えてください。
※「ON」への切り替えはパワーコネクタをすべて接続した後に行ないます。

②電圧切替スイッチが「115V」になっていることを確認します。

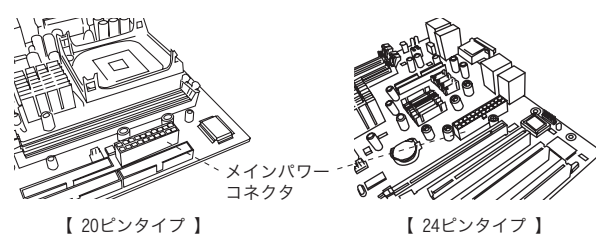


※表示が「230V」になっている場合は「115V」に切り替えてください。(日本国内使用時)

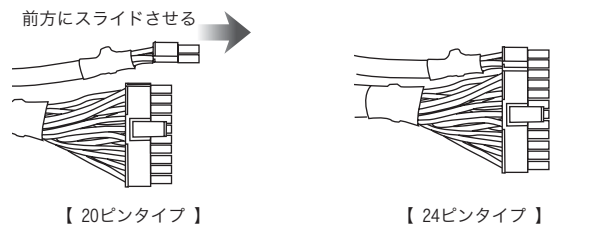
■マザーボードへのコネクタ接続

24 (20+4) ピンメインパワーケーブルコネクタの接続

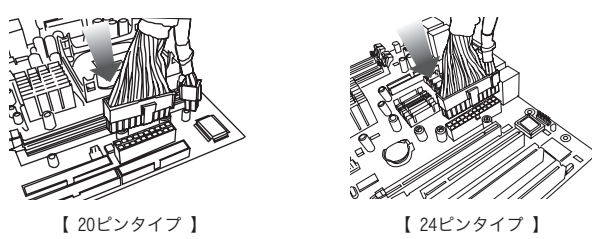
①電源ユニットのメインパワーケーブルコネクタをマザーボードに接続します。
まずは、お使いのマザーボードのメインパワーコネクタが20ピンタイプか24ピンタイプかをご確認ください。



②マザーボードのメインパワーコネクタのタイプに電源ユニットのメインパワーケーブルコネクタを合わせます。
20ピンタイプのマザーボードをお使いの場合は、24 (20+4) ピンコネクタの4ピンを外してお使いください。
24ピンタイプのマザーボードをお使いの場合は、24 (20+4) ピンコネクタの4ピンを結合した状態でお使いください。

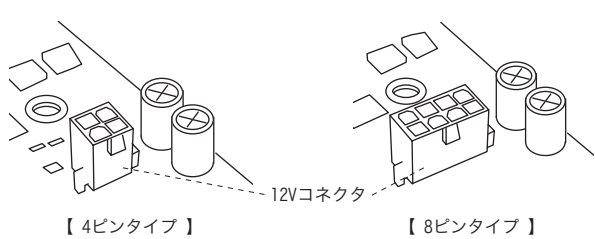


③電源ユニットのメインパワーケーブルコネクタとマザーボードのコネクタの向きを確認の上、ツメがロックされるまでしっかりと挿し込んでください。

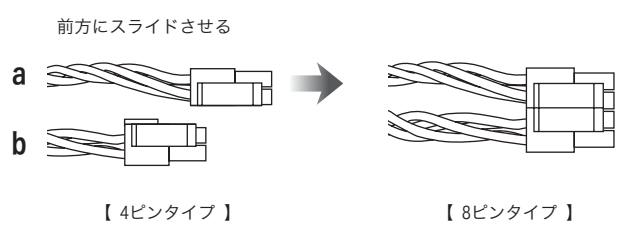


8 (4+4) ピン12Vケーブルコネクタの接続

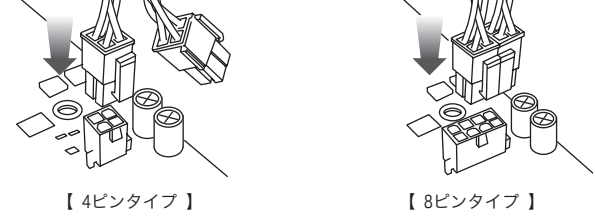
①電源ユニットの12Vケーブルコネクタをマザーボードに接続します。
まずは、お使いのマザーボードの12Vコネクタが4ピンタイプか8ピンタイプかをご確認ください。



②マザーボードの12Vコネクタのタイプに電源ユニットの12Vケーブルコネクタを合わせます。
4ピンタイプのマザーボードをお使いの場合は、8 (4+4) ピンコネクタを下図のように分割し、bのコネクタをお使いください。
(aのコネクタは物理的に挿さりません。)
8ピンタイプのマザーボードをお使いの場合は、コネクタを分割せず8ピンコネクタの状態でお使いください。



③電源ユニットの12Vケーブルコネクタとマザーボードのコネクタの向きを確認の上、ツメがロックされるまでしっかりと挿し込んでください。

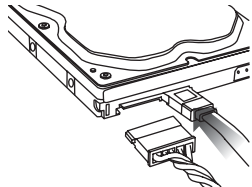


■ストレージデバイスへのコネクタ接続

ストレージデバイスへのコネクタ接続の際は、コネクタの向きに十分ご注意ください。正しく接続してください。
誤ったコネクタ接続の状態でご使用になると配線等が発火し、電源ユニットや接続機器等を破損する恐れがあります。

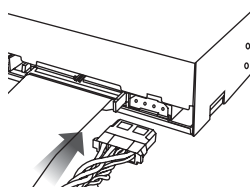
SATAコネクタの接続

SATAコネクタ対応のストレージデバイスに電源ユニットのSATAケーブルコネクタを接続します。
コネクタの向きを確認の上、奥までしっかりと挿し込んでください。



4ピンペリフェラルコネクタの接続

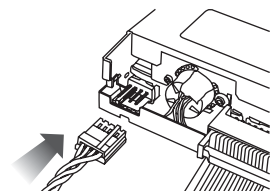
4ピンペリフェラルコネクタ対応のストレージデバイスに電源ユニットの4ピンペリフェラルケーブルコネクタを接続します。
コネクタの向きを確認の上、奥までしっかりと挿し込んでください。



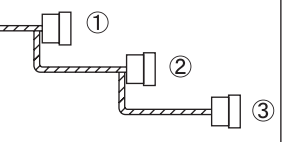
FDDコネクタの接続

FDDに電源ユニットのFDDケーブルコネクタを接続します。
コネクタの向きを確認の上、奥までしっかりと挿し込んでください。

コネクタの向きにご確認ください。

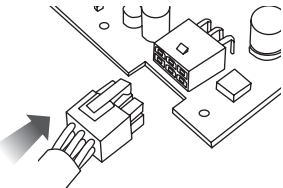


1本のパワーケーブルに複数のストレージデバイスを接続する場合は、図の番号順にコネクタを接続することをおすすめします。
接続するストレージデバイス同士が離れている場合は、②コネクタを飛ばして接続しても動作に支障はありません。

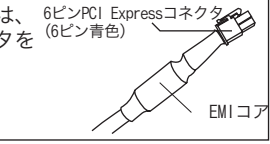


■PCI Express対応VGAカードへの接続

必要に応じて(PCI Express対応のVGAカードをお使いになる場合) 6ピンPCI ExpressケーブルコネクタをVGAカードに接続します。
コネクタの向きを確認の上、奥までしっかりと挿し込んでください。



6ピンPCI Expressケーブルコネクタは、EMI コアが付いているほうのコネクタをVGAカード側に接続してください。



9. 電源ユニットの起動

■電源ユニット起動前の確認（重要）

電源ユニットを起動する前に、お使いのPCケースおよび接続機器等に添付された取扱説明書の指示・警告をご確認ください。

電源ユニットを起動する前に、必ず次の確認を行ってください。
誤った設定、接続のままご使用になると電源ユニットや接続機器等を破損する恐れがあります。

①電源ユニットのメインパワースイッチの表示が「OFF」になっていることを確認します。

※表示が「ON」になっている場合は「OFF」に切り替えてください。

②電圧切替スイッチが「115V」になっていることを確認します。

※表示が「230V」になっている場合は「115V」に切り替えてください。(日本国内使用時)

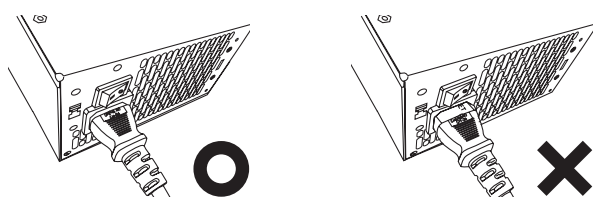
③マザーボードや接続機器等への配線に誤りがないか再確認します。

④PCケースのパワースイッチケーブルコネクタがマザーボードに正しく接続されていることを確認します。

※PCケースのパワースイッチケーブルコネクタは、お使いのPCケースおよびマザーボードの取扱説明書の指示に従い、正しく接続してください。

■ACコンセントケーブルの接続

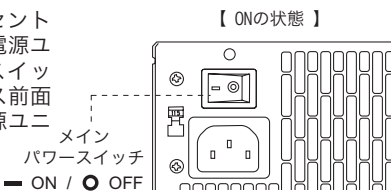
端子の形状、向きを確認の上、ACコンセントケーブルの一端を電源ユニット背面の挿込口に挿し込み、もう一端をコンセントに挿し込みます。



ACコンセントケーブルの端子は奥までしっかりと挿し込んでください。
接続が不完全なままご使用になると、PCの動作が不安定になったり、電源ユニットや接続機器等を破損する恐れがあります。

■電源ユニットの起動

起動前の確認およびACコンセントケーブルの接続が終わったら、電源ユニット背面のメインパワースイッチを「ON」に切り替え、PCケース前面のパワースイッチを押し、電源ユニットを起動させてください。

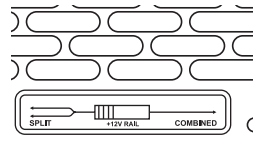


PC用電源ユニットは単体では起動しない設計になっています。
不具合ではありませんので各デバイスを接続後、動作確認を行ってください。

10. ターボパワースイッチ

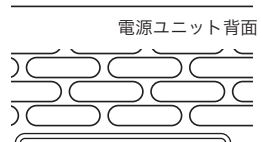
■SPLITモード

+12Vラインを2レールに分配し、双方とも最大20Aの出力が可能になります。
ATX12V Ver. 2. 2に準拠した通常用途でお使いの場合は、SPLITモードをおすすめします。



■COMBINEDモード

+12Vラインを1レールに統合し、最大26Aの出力が可能になります。
デュアルプロセッサ、SLI、多数のHDDを搭載するなどの高負荷システムの稼働、高周波数のプロセッサ使用時など突入電流が高い場合は、COMBINEDモードをおすすめします。



11. トラブルシューティング

■製品が正しく動作しない場合は以下の項目をご確認ください。

①ACコンセントケーブルが正しく接続され、電源ユニットのメインパワースイッチが「ON」になっていますか？
②電圧切替スイッチは「115V」に設定されていますか？
③24 (20+4) ピンメインパワーケーブルコネクタは正しく接続されていますか？
④各接続ポートにパワーケーブルコネクタが正しく接続されていますか？
⑤PCケースのパワースイッチケーブルコネクタはマザーボードに正しく接続されていますか？

上記の確認を行っても電源が正常に動作しない場合は、弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

PC用電源ユニットは単体では起動しない設計になっています。
不具合ではありませんので各デバイスを接続後、動作確認を行ってください。

12. カスタマーサポートのご案内

本製品に関するお問い合わせは弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

アビー株式会社 カスタマーサポート
〒221-0063 神奈川県横浜市神奈川区立町6番地1 ANNI横浜EAST4F
e-mail : support@abee. co. jp
tel : 045-306-6686 / fax : 045-402-6920
営業時間：月曜日～金曜日 10：00～18：00
(土曜日、日曜日、祝祭日および弊社特定休業日、夏季および年末年始の休業日を除く)

13. 本書について

・Intel Pentium D、Pentium Extreme EditionおよびXeonプロセッサは米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
・AMD Athlon 64 X2およびOpteronプロセッサは米国およびその他の国におけるAdvanced Micro Devices, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。
・その他、記載の規格名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
・本書は2006年6月現在の製品仕様をもとに作成されています。製品の仕様は将来改良のため予告なく変更する場合があります。
・最新の情報、保証規定等は、弊社ホームページに随時更新されておりますので、定期的にご確認ください。 <http://www.abee.co.jp/>